

めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和4年4月発行

令和4年4月。かぐめよし少年自然の家は、平成24年度からの第1期から10年間の歳月を刻み、引き続き玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体により第3期の指定管理業務に入ります。これからも「初心忘るべからず」に、たくましい北九州っ子の育成、自然体験活動の支援に汗をかいてまいります。みなさまのご利用、ご指導を衷心よりお願いいたします。

さて、北九州市の春の山の幸と言えば「合馬の竹の子」が浮かびますが、一方「放置竹林」という課題も日々耳にし、所員も通勤途上あちこちで密集竹林、枯れ竹が積み重なった竹林を目の当たりにします。かぐめよし少年自然の家では、少しでもこの課題に対処し、地域の健全な竹林の維持を学習、実践することとしています。

成果がすぐに見えることは難しいと思われませんが、春から初夏にかけて「傘をさして歩ける」竹林の爽やかさを、少しでも回復するきっかけを作りたいと思います。皆様のご支援、ご指導をお願いいたします。

【竹チップの導入】

現在北九州市が東西区に2台導入している竹チップperを、かぐめよし少年自然の家にも導入することとしました。これは、自走式の竹や木の枝を粉碎する機械で、処理したい竹林に自走し、そこで粉碎化できるものです。つまり、竹を搬出する労苦が不要なものです。また、粉碎されたチップは様々な利活用方法があり、これらを含めてかぐめよし少年自然の家を起点として、地域の竹林対策を目指すものです。

New Staff

2名の新しいスタッフが加入しました！！

大音 愛梨 (なっしー)

かぐめよしの NEW スタッフになりました「なっしー」です。好きなスポーツはバレーボールです。運動、寝ること、食べること

が大好きです。

皆さんと一緒に自然を通して様々な活動するのが楽しみです。これから宜しくお願いします。

尾崎 公昭 (かめやん)

はじめまして。山に登ったり、自転車でかけ回ったり、カヤックで海や川に浮かんだり、とにかく自然の中にいることが大好きです。これから、すてきな草木、山川、様々な生き物に囲まれたかぐめよしの自然の中で、皆様といっしょにお会いできるのを楽しみにしています。





主催事業報告



ぺったんぺったんお餅つき

「正月事始め（12月13日）」より少し早く、5家族12名の参加者とお正月の準備をしました。一生懸命に慣れない手つきで縄をない、汗を流しながら餅をつくみなさんの姿は、きっと年神様に届いているはず。良い2022年の始まりを迎えることはできたでしょうか？



第2回ボランティア研修会

毎年恒例の施設ボランティア合同餅つき大会を開催しました。各施設のボランティア31名が杵を振るい、囲炉裏に集まり、交流を深めることが出来ました。

徐々にコロナ前の参加人数に戻りつつあり、年々盛り上がっています！ボランティア間の結束をさらに強める為、今年度も餅をたくさんつきに来て下さい♪



第5回かぐめよし自然少年団



今回は、お正月の行事として

鏡開き・どんど焼きを行い、そして、第6回の福智山登山に向けて「月の平」まで歩きました。今年も、無病息災で過ごせるといいですね！

親子でワクワク！工作教室

1月17・24日、2日間で8家族が、楠の天然木を使って「ちゃぶ台」の制作に挑みました。初めて使うノコギリやノミにドキドキ！樟脳の香りの立ち込める中、親子で協力して立派な「ちゃぶ台」



を完成させました。

ちゃぶ台返しはしないでね！！

第6回かぐめよし自然少年団

コロナの感染者数も市内で多いことから、日帰りで最後の少年団は行うことになりました。最後は、福智山登山にみんなで挑み、誰一人弱音を吐くことなく登頂出来ました。



今年度は7人が卒団しました。卒団、おめでとう！

※2月12（土）～13日（日）に予定していました「家族みんなでだんらんラン！」、2月27日（日）に予定していた「第3回ボランティア研修会」は新型コロナウィルス感染拡大によるまん延防止等重点措置発令の為、中止しました。

頂吉図鑑

～第27回～

木五倍子（キブシ）



今回ご紹介するのは、木五倍子（キブシ）という木です。春の花が咲き始めた頃、林道を歩いていると、こんなにもキブシの木があったのかと毎年のように驚かされます。というのも、落葉樹の林にキブシの花穂がとてもよく目立つのです。淡い筒状の黄色の花が沢山つきます。

この花は山菜としても食べられます。天ぷらにして美味しくいただけるのですが、時々渋い花にあたることがあります。何故だろうと思いよく観察してみると花に三種類あることに気づきました。雄花と雌花、両性花です。木は雌雄別々のようです。当然、雄の木には実がならないため、花の時期しか目立たないわけです。何故渋い花があるのかはその時分かりませんでした。

実はキブシについては第16回のヌルデを紹介した際に触れています。【ヌルデの葉に出来る虫こぶは五倍子（フシ）と呼ばれ、お歯黒の材料として使われていました。お歯黒は昔、虫歯予防や既婚女性の印などとして歯を染めたものです。この五倍子は貴重なものであったので、代用品としてタンニンが多く含まれる木の実を使っていました。キブシの実です。キブシのフシは五倍子のことだったんですね。】キブシの実の渋さは群を抜いていて、本家のヌルデフシよりも強烈です。この実を齧ったとき、花のほのかな渋味を思い出しました。どうやら受粉してしばらくすると渋くなるようです。

皆さんも花を食べるときは、早い時期に採取するか、雄花だけ選ぶかにしてください。

このキブシは枝を折ると真ん中に白い髓があり、硬い棒で押し出すことができます。この髓は、灯明の芯として使われていたようです。先人の知恵、特に生活と自然の関わりには驚きを覚えます。

髓を抜いて空洞になった枝に切り込みをいれ、斜めに切った髓を差し込むとキブシ笛の出来上がり。今は、これくらいしかキブシと関わりのない自分の生活に少し寂しさを感じます。

ありがとうございました

2年間、かぐめよしで頑張ってくれた、安藤奨杜君が（しょーと）3月いっぱいまで退職しました。



令和3年度をもってかぐめよし少年自然の家を退職することとなりました。

この2年間でさまざまな経験をさせていただきました。初めて出会うものばかりで、すべてが刺激的でした。

4月からは新しい場所で新しいことに挑戦します。かぐめよしでの経験を胸に、全身全霊で頑張っていきます！本当にありがとうございました。

<かぐめでの思い出エピソード>

ダムカヌー中、子どもたち約20名と手を取り合ってカヌーで大きな輪を作り、「バウバウ渡り」に初挑戦！結果は…4艇目を渡る途中で、水面に落下…。私自身が重すぎてうまくバランスが取れなかったと思われます。減量します！

しょーと

主催事業のお知らせ



4月～7月

	事業名	時期	対象者・人数
4月	観天望気学習キャンプ	4月16日(土)～ 4月17日(日)	小学5・6年生 20名
	かぐめよし自然少年団①	4月23日(土)～ 4月24日(日)	かぐめよし自然少年団 に所属する団員
5月	春の福智山登山	5月5日(水)(祝)	小・中学生とその保護 20名
	かぐめふるさと交流	5月21日(土)～ 5月22日(日)	中学生以下とその保護者 7家族
6月	かぐめよしバンブーキャンプ	6月4日(土)～ 6月5日(日)	小中学生とその保護者20名
	家族でキャンプ&アウトドアご飯	6月18日(土)～ 6月19日(日)	小・中学生とその保護 20名
7月	かぐめよし自然少年団②	7月2日(土)～ 7月3日(日)	かぐめよし自然少年団 に所属する団員
	水環境体感キャンプ 事前研修会	7月9日(土)～ 7月10日(日)	小4～中3まで15名
	親子でかぐめよしダムカヌー	7月17日(日)	小 3～中学生とその保護者 20名

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、事業を縮小・中止することがございます。

主催事業の募集は全て市政だよりに掲載します。
応募は市政だよりをご覧ください。



北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093) 451-3111 FAX：(093) 451-3133